



画像処理監視システム *EasyMonitoring2*

デモソフト 使用説明書 Ver. 1.0.4

1 : デモソフトでできること.....	2
2 : EasyMonitoring の特徴.....	2
2-1 簡単	2
2-2 汎用・多機能	2
2-3 カメラが自由.....	3
2-4 読み取りの堅牢性	3
3 : デモソフトの制限	3
4 : インストールの流れ	3
5 : 起動と動作.....	5
5-1 監視デモ動作中の操作	6
5-2 画像処理設定の追加	6
5-3 メール通知.....	9
5-4 実際にカメラを接続して試してみる	10
6 : その他の機能.....	15
6-1 上位システム(SCADA 等)との連携.....	15
6-2 タブレット等の端末との連携	16
6-3 HTTP サーバーとの連携.....	17
7 : 貸出カメラとお問合せ.....	17
7-1 画像をお送り下さい	17
7-2 貸出カメラ.....	17
7-3 技術サポート.....	17
7-4 ご要望をお聞かせください.....	18
8 : 出張デモについて	18

1 : デモソフトでできること

この度は画像処理監視システム

「EasyMonitoring2 (イージーモニタリング 2)」のデモソフトをダウンロード下さいまして誠にありがとうございます。

本システムの機能をお試し頂くために、本ソフトウェアでは下記の機能を用意しています。

- デモ画像による疑似動作

デモソフトにはサンプル画像が含まれており、これらの画像を使って監視や画像処理の疑似動作を行ったり、設定を追加変更して試用したりすることができます。



- 現場 + カメラ実機でテスト

疑似動作や設定方法のご確認後、実際にカメラを使ってお試し頂けます。貸出機を用意しています。また既に保有されているカメラ、設置済みのカメラもご使用頂けます(※)。



※仕様条件があります

- データの保存

データは CSV 形式で保存されます。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
1	2019/8/19 11:30	[001]異常	[002]異常	[003]異常	[004]異常	[005]異常	[006]異常	[007]異常	[008]異常	[009]異常
2	2019/8/19 11:30	122.27	147.77	194.09	254.22	100	100	99.87	0	12.55
3	2019/8/19 11:31	150.41	182.04	178.44	191.9	100	100	99.87	0	12.78
4	2019/8/19 11:32	194.97	178.5	136.34	190.51	100	100	0	0	13.01
5	2019/8/19 11:32	178.14	131.84	129.01	172.05	100	100	99.87	0	12.88
6	2019/8/19 11:32	135.75	126.67	116.41	163.74	100	100	99.78	0	13.51
7	2019/8/19 11:33	129.6	116.11	111.42	175.28	100	100	99.87	222038	13.22

形式は

(日時),(読取値 1),(合否),(読取値 2),(合否)…の繰り返しです。

2 : EasyMonitoring の特徴

2-1 簡単

本システムは「簡単かつ実用的」にご使用いただけるように開発されています。

2-1-1 PC があればお試しください。

お手持ちの PC があれば、プリインストールの画像による疑似動作や設定の追加削除が行えるほか、実際のカメラを使用して現場で動作確認ができます。

2-1-2 専門知識不要

ユーザーがカメラを追加したり、設定を行ったりすることができるように設計されています。また、専門知識不要でご使用頂くために、充実した技術サポートを用意しています。

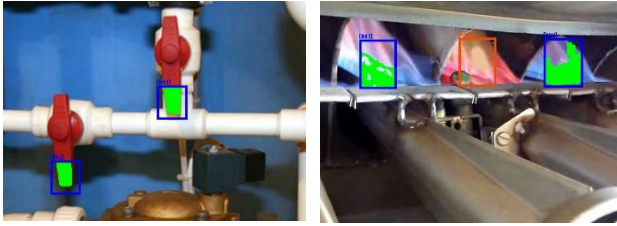
2-2 汎用・多機能

本システムはメーターの読み取りやランプの点灯確認だけでなく AI (ディープラーニング) を含む様々な画像処理機能を備えており、人の目で確認している様々な監視・確認作業を画像処理により自動化することができます。

例) メーター・ランプ



例) バルブ位置や炎の色



例) 人・動物の検知、資材のカウント



2-3カメラが自由

ネットワークカメラに汎用的に対応しているため、既に設置・運用中のカメラ、防水・防爆カメラ、サーモグラフィカメラなど、本システムとの通信仕様を満たすカメラであればご使用頂けます。

2-4読み取りの堅牢性

明るさや環境の変化、汚れその他による外乱に対して安定した読取・判定ができるような画像処理アルゴリズムを実装しています。

3 : デモソフトの制限

デモソフトでは下記の制限があります。ソフトの正式版ライセンスキーを使うことによりこれらの制限は解除されます。

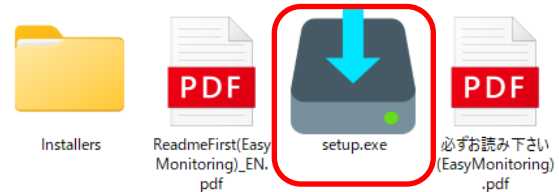
- 試用期間 60 日
60 日を超えますとソフトウェアが起動しなくなります。引き続き評価を行いたい場合はデモソフト入手元または弊社までお問い合わせ下さい。
- 連続画像処理回数 2000 回または連続監視動作 6 時間まで
上記回数または時間に達しますと一旦監視動作が終了します。ソフトウェアを再起動することにより再度監視動作を行うことができます。

- 設定数（接続カメラ台数）10 設定まで
デモソフトでは設定数（接続カメラ台数）の上限は 10 に設定されています。
- AI は疑似動作
AI（ディープラーニング）を使用するためには別途 AI 用ソフトの追加インストールが必要になるためデモソフトでは疑似動作となります。[実際に AI の画像処理をお試しになりたい場合は tech@skylogiq.co.jp](mailto:tech@skylogiq.co.jp) までお問い合わせ下さい。AI 用ソフトの動作に必要なインストーラー一式を無償で貸出いたします。

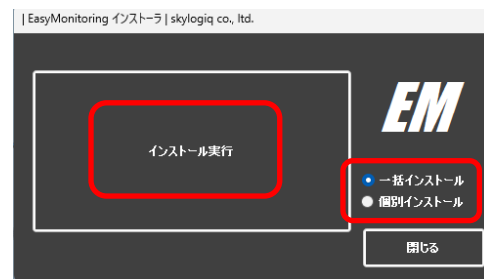
4 : インストールの流れ

本システムはカメラ管理ソフトと画像処理ソフトで構成されており、これら 2 つのソフトをインストールすることにより実行可能になります。

インストーラパッケージのフォルダを開き、「setup」アイコンをダブルクリックします。



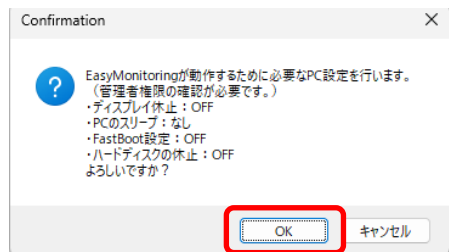
「一括インストール」が選択されていることを確認して「インストール実行」ボタンをクリックします。



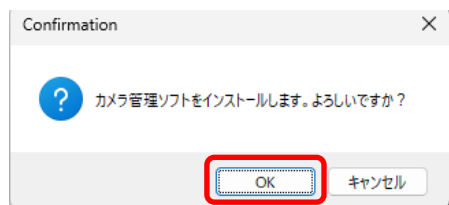
インストールが開始されますので、OK をクリックします。



EasyMonitoring の動作に必要な PC の設定を行うダイアログが表示されますので OK をクリックします。デモのみ動作させたい場合など、PC の設定が不要な場合はキャンセルをクリックしても問題ありません。



カメラ管理ソフトのインストールを開始するダイアログが表示されます。OK をクリックして下さい。



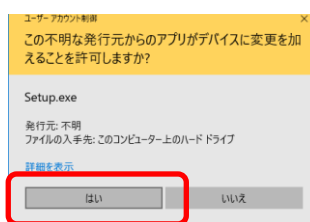
ライセンス条項をご確認の上、同意する場合は「同意する」をクリックして「次へ」で進んでください。



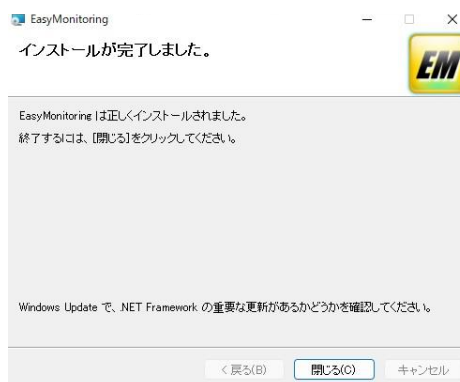
以下、「次へ」で進んで下さい。



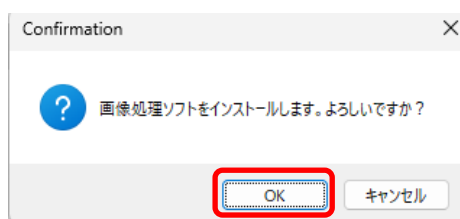
ユーザーアカウント制御の画面が表示される場合は、「はい」を選択して下さい。



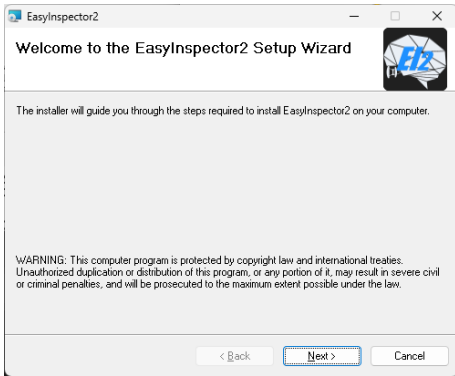
カメラ管理ソフトのインストールが完了します。



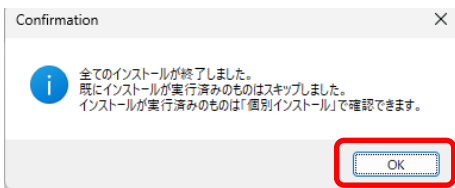
次に、画像処理ソフトのインストールが実行されます。OK をクリックして進んでください。



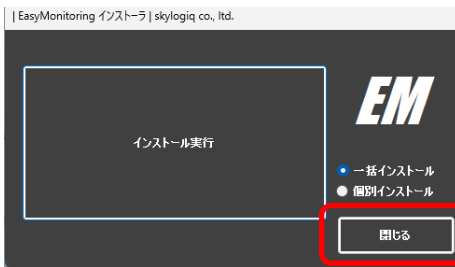
先程と同様、「Next」でインストールを完了して下さい。



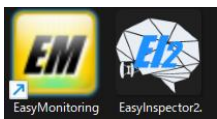
全てのインストールが完了すると下記メッセージが表示されますので OK をクリックして閉じてください。



「閉じる」ボタンでインストーラを終了します。



デスクトップ上に新たに 2 つのアイコンが表示されます。EM のアイコンがカメラ管理ソフト、EI2 のアイコンが画像処理ソフトです。



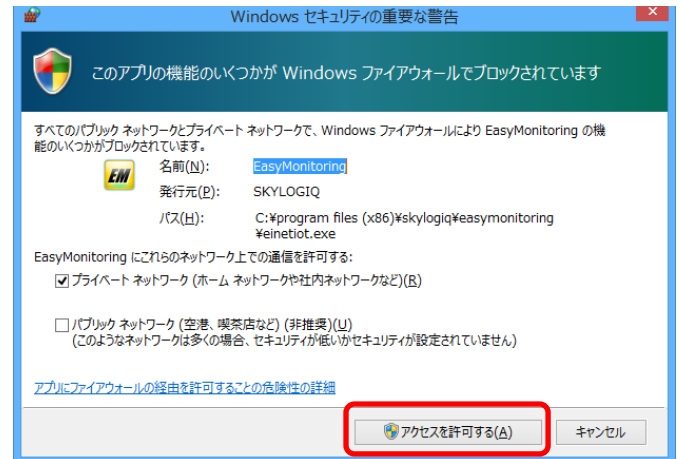
5 : 起動と動作

黄色い「EM」のアイコンをダブルクリックして起動します。



ソフトウェアを起動すると Windows からファイアウォールのメッセージが出る場合があります。これは、カメラ管理ソフトが上位システム（SCADA など）や画像処理ソフトと連携する際

にソケット通信を行うためです。「アクセスを許可する」をクリックして続行してください。



ソフトウェアが起動されたら、表示されているスタート画面の「デモ開始」ボタンをクリックします。本ソフトのインストーラにはデモ画像が含まれており、「デモ開始」ボタンをクリックすることによりデモ画像を使った疑似動作をさせることができます。「デモグループ」では主にメーターやランプの読み取りを、「AI デモグループ」では AI によるメーター読取、人・動物・異物の検知、資材のカウントなどの例をご覧ください。



スタート画面

デモ動作では、1 分おきに多数のカメラから画像を取得して画像処理を行います。アナログ・デジタルメーターの読み取りやバルブの縦横確認、ランプの色などに基づいて装置の稼働状況を記録します。



メイン画面

5-1 監視デモ動作中の操作

本ソフトでは、主に下記の操作ができます。

5-1-1 一時停止

監視中、特定のカメラ画像を確認したい場合、一時停止することによって自動的に画面が切り替わらないようにします。



5-1-2 カメラ画像一覧の画像のクリック

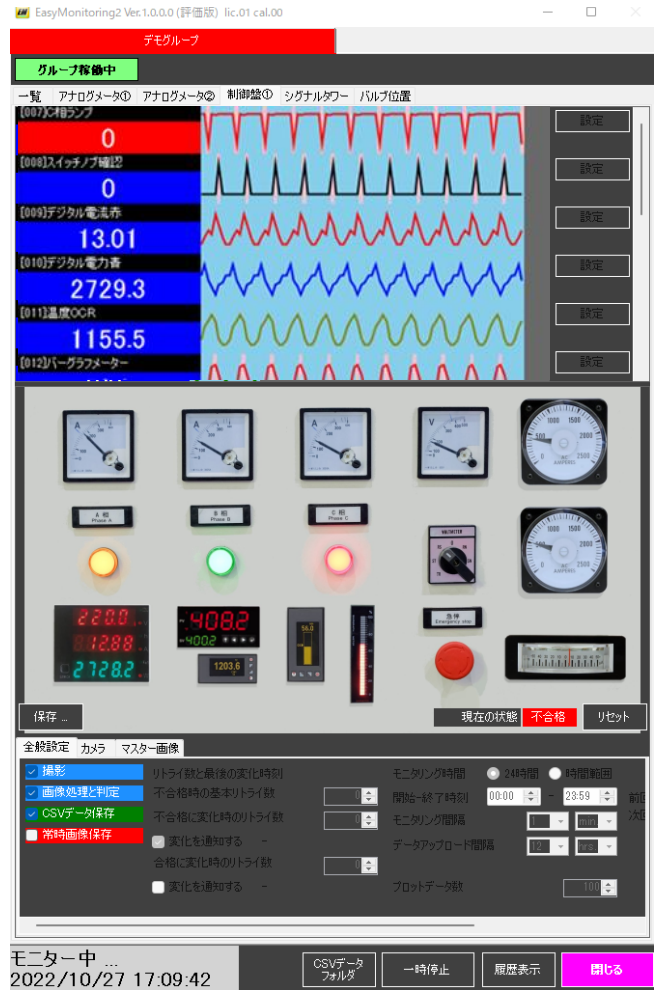
カメラ管理ソフトの一覧表示の中で画像をクリックすると右側の画像処理画面に最新の画像が表示されます。



※デモ画像では、読取の堅牢性を確認頂くために汚れやひび割れなどの画像加工をしています。

5-1-3 「詳細」ボタンのクリック

詳細ボタンをクリックすると、そのカメラで撮影された画像内の複数箇所（最大 999 ヶ所）の各読取值や状態、判定が表示されます。また現在の設定を確認することができます。



5-2 画像処理設定の追加

デモ画像による確認ができましたら、画像内の他の場所に読み取り設定をしてみましょう。

「閉じる」をクリックしてスタート画面に戻ります。



スタート画面で「設定」をクリックします。



例として、制御盤の「408.2」のデジタル読取を追加します。メイン画面の一覧表示で「制御盤①」の「設定」をクリックします。続いて

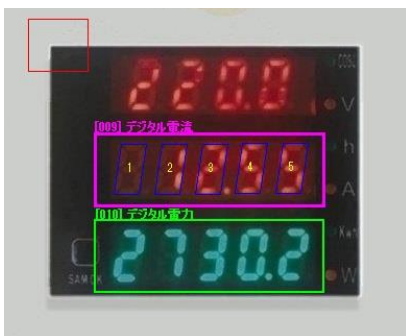
「408.2」のデジタル表示をダブルクリックします。



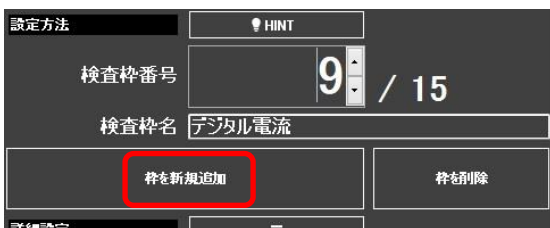
メイン画面 画像処理画面
 クリックした部分が拡大表示されます。ここで「メニュー」→「設定の変更と調整」をクリックして設定画面を開いてください。



今回は既に類似の設定があるため、ここから設定をコピーします。「12.55」の枠をクリックして下さい。この枠がピンク色でハイライトされ、設定領域に現在の設定が反映されます。

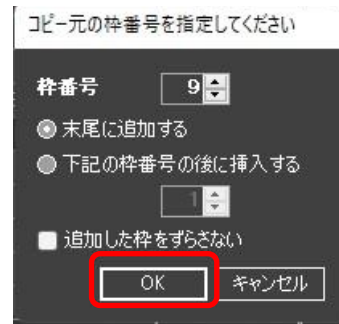


ここで「枠を新規追加」をクリックします。



コピー元の枠を指定するダイアログが表示されます。先ほどクリックした枠番号「9」が選択さ

れていますのでそのまま「OK」をクリックします。



検査枠 009 がコピーされて新たな枠が末尾に追加されました(016)。



これを読み取り追加したい箇所(408.2のデジタル表示)に移動します。



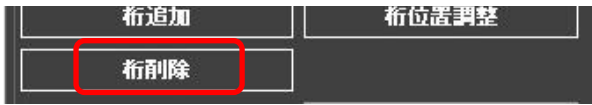
また、ズレ補正枠(万が一カメラがずれてしまった時に画像的に位置補正する機能)もこのメーターに合わせて移動します(縦横のずれが分かる部分(角など)に配置します)。



まず、表示色が若干異なるため、再設定します。「表示色」をクリックして点灯しているセグメントを、「背景色」をクリックして背景をマウスでクリックします。



新たな読み取り個所は4桁なので一桁削除します。「桁削除」ボタンをクリックして削除する桁をクリックします（ここでは一番左の桁）。



桁が振り直されます。



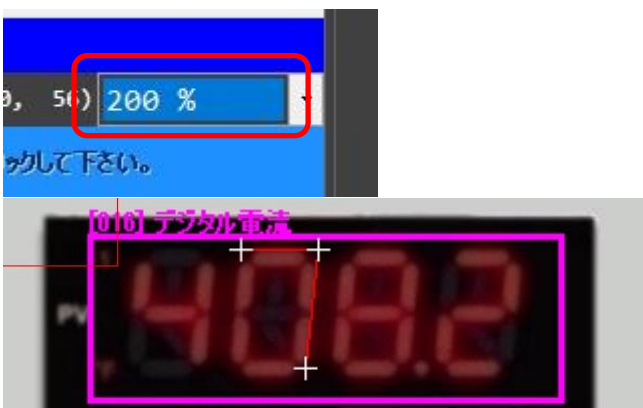
次に、傾きや大きさが異なるので輪郭を再指定します。「7セグ輪郭指定」をクリックすると輪郭指定のポイントのガイダンスが表示されます。



画像の下に手順が表示されますのでこれに従って桁の輪郭をクリックしていきます。

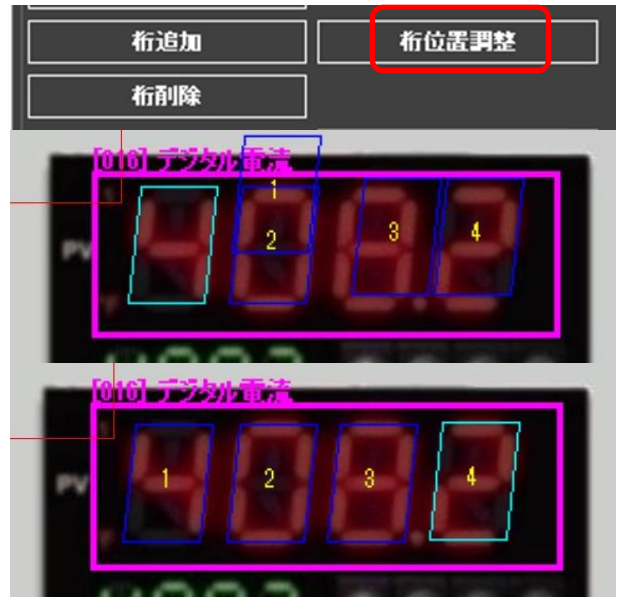
***1点目(左上)を表示例のよにセグメントに沿ってクリックして下さい。**

この際、拡大率を200%以上にすると指定が楽です。



(輪郭の指定)

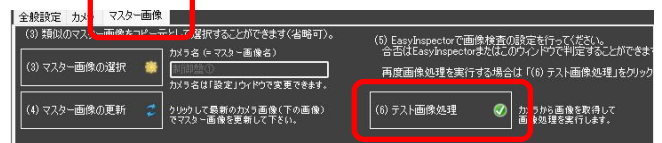
最後に桁位置を調整します。「位置調整」をクリックしてONにし、表示される水色枠を各桁に当てはめて行きます。最も近い桁(青い枠)位置が修正されます。(どの枠も修正されない場合は青い枠に近い部分でクリックして下さい。)



(全て位置調整ができた状態)

位置調整が完了したら「位置調整」ボタンをOFFにして位置調整モードを解除します。

以上で画像処理設定は完了です。メイン画面の「制御盤①」設定で「マスター画像」タブを選択し、「(5)テスト画像処理」をクリックして下さい。



408.2の読み取りができました。最後に合否判定の設定をして設定完了です。



メイン画面のグラフ表示の一番下に読取値が表示されています。この表示設定(任意の名称、文字の大きさやプロット色など)は「設定」から設定することができます。



※アナログメーターの読取を追加する場合など、その他の設定方法については画像処理ソフト「EasyInspector2」の説明をご参照下さい。

※ここでは既にあるカメラ画像の中で設定を追加する方法について説明しました。(カメラ自体を追加する方法は「5-4 実際にカメラを接続して試してみる」で説明しています。)

5-3 メール通知

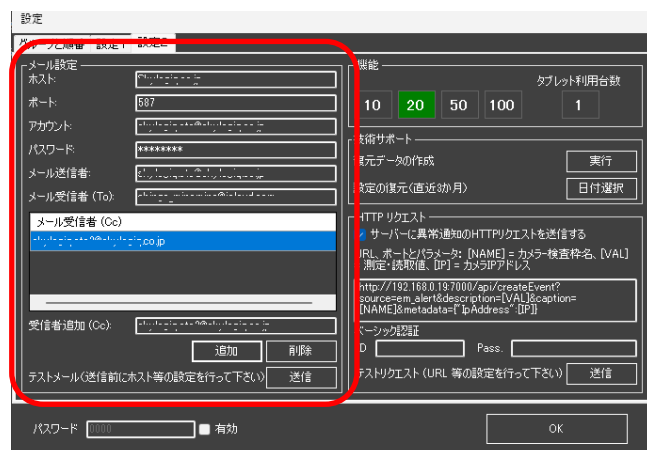
画像による判定の結果が合格→不合格または不合格→合格に変化した時にメールで画像付きメールを送信することができます(注意:本機能はメール送信を行うため、システム PC がインターネットに接続されている必要があります)。

5-3-1 メール設定

スタート画面で「設定」をクリックしてメイン画面を設定モードで起動します。

さらにメイン画面右下の「設定」をクリックして設定画面を開きます。「設定 2」タブを開き、送信に必要な情報を入力します。ホスト、ポート、アカウント、パスワードにはインターネットプロバイダまたはシステム管理者から提供された情報を入力して下さい。メール送信者には送信者のメールアドレス、受信者には通知を受けたい人のメールアドレスを入力します。また、複数の人に通知したい場合は「受信者追加

(Cc):」に追加メールアドレスを入力して「追加」をクリックして下さい。



「テストメール」の「送信」ボタンをクリックするとテストメールを送信することができます。正しく送信されることを確認して下さい。

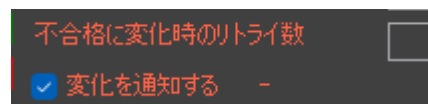
5-3-2 カメラ個別の通知設定

カメラ個別の設定画面で「変化を通知する」のチェックを ON にします。合格→不合格または不合格→合格のどちらで通知するかを選択することができます。

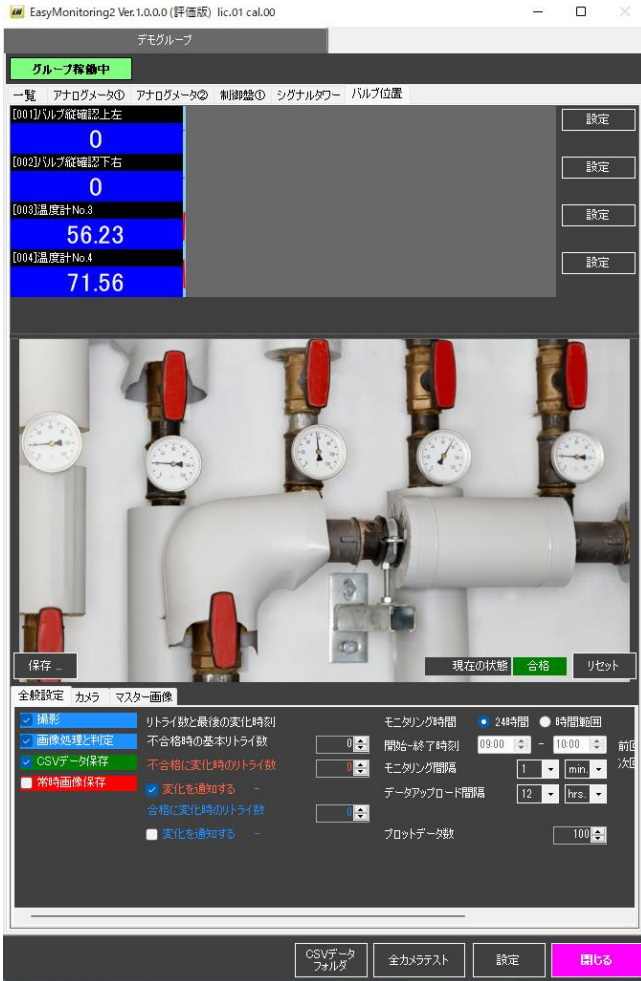


スタート画面に戻り、「デモ開始」をクリックします。監視が開始され、設定された通知条件が発生した時にメールが送信されます。

※本動作はデモ画像による疑似動作でもご確認頂けます。「制御盤①」と「バルブ位置」では不合格が発生しますので、これらのカメラで「変化を通知する」のチェックを ON にしますと不合格発生時にメールを送信します。



送信された画像を確認することにより、通知条件が発生した際のカメラ画像とグラフを確認することができます。



(メールに添付される画像 生画像とグラフ)



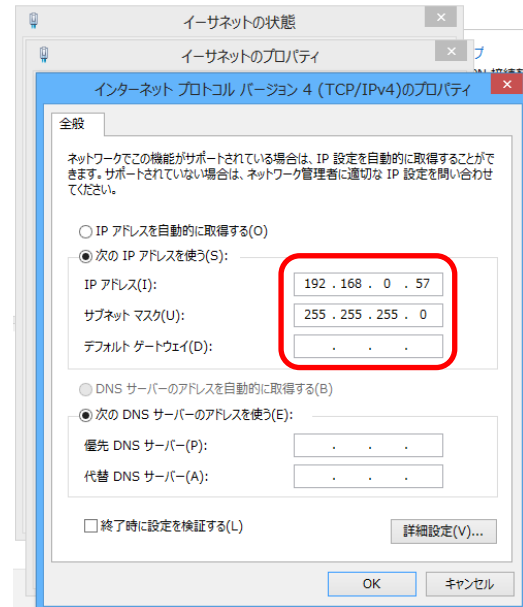
(メールに添付される画像 画像処理結果)

5-4 実際にカメラを接続して試してみる

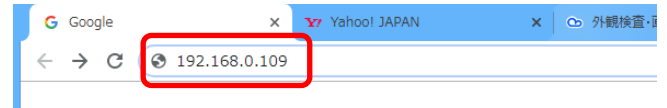
5-4-1 ウェブブラウザでの確認

まず、追加したいカメラが EasyMonitoring がインストールされたパソコン（以下システム PC）からアクセス可能かどうか確認するために、システム PC のブラウザでカメラの IP アドレスを入力してカメラ画像を表示します。カメラの IP アドレスやシステム PC の設定は一例です。実際にお試しになるネットワーク環境

に合わせてください。接続の方法や設定の方法はカメラメーカーによって異なります。詳細は各メーカーの取扱説明書をご参照ください。

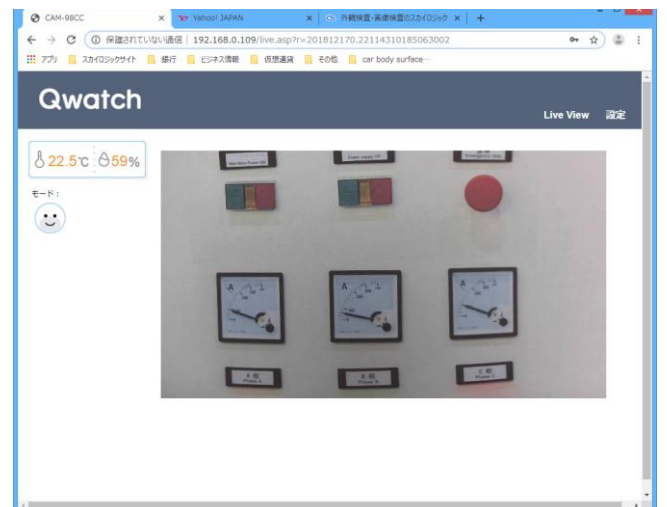


(システム PC のイーサネット設定例)



(ブラウザの IP アドレス入力例)

カメラへのアクセスに必要な ID とパスワードが設定されている場合はブラウザからこれらの入力が必要されます。正しい ID とパスワードを入力して下さい。この ID とパスワードはこの後のカメラの追加設定で必要になりますので、メモ帳などにコピー+ペーストしておいて下さい。

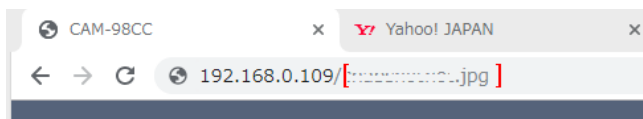


(ブラウザでの表示例)

5-4-2 画像取得コマンドの確認

ブラウザでカメラの画像が表示できたら、JPEG 画像を一枚だけ取得するコマンドを送り、これがブラウザで表示されるか確認します。このコマンドはカメラ型番やメーカーによって異なります。

- 既にこのコマンドを知っている場合：このまま進んで下さい。
- コマンドをカメラメーカーに問い合わせる予定の場合：メーカーからコマンドを取得してから読み進めて下さい。
- スカイロジックから特定のカメラ機種のコマンドファイルを入手することができる場合：このセクションを飛ばして「5-4-3 カメラの追加」に進んで下さい。（入手可能な機種についてはお問い合わせ下さい。）



上の[]の部分コマンドになります。

正しく画像が取得されると、下図のように1枚のJPEG画像が表示されます。このIPアドレスとコマンドはこの後のカメラの追加設定で必要になりますので、メモ帳などにコピー+ペーストしておいて下さい。



5-4-3 カメラの追加

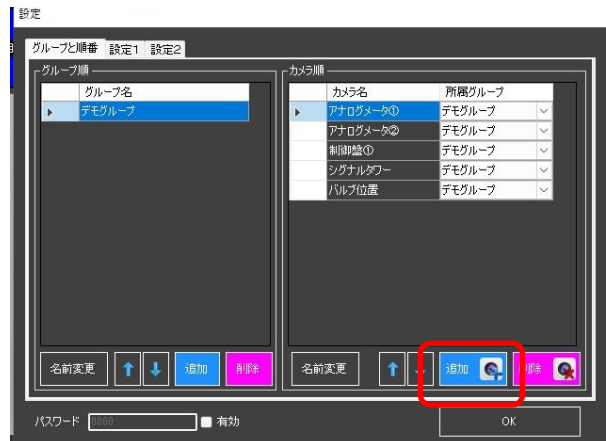
ブラウザでの確認後、メインウィンドウでカメラの追加を行います。EasyMonitoring を起動し、スタート画面で「設定」をクリックします。



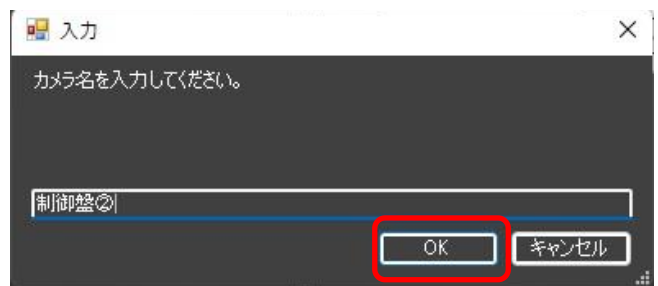
さらにメインウィンドウの右下の「設定」をクリックします。



設定画面が表示されますので、右下の（カメラ）「追加」ボタンをクリックします。

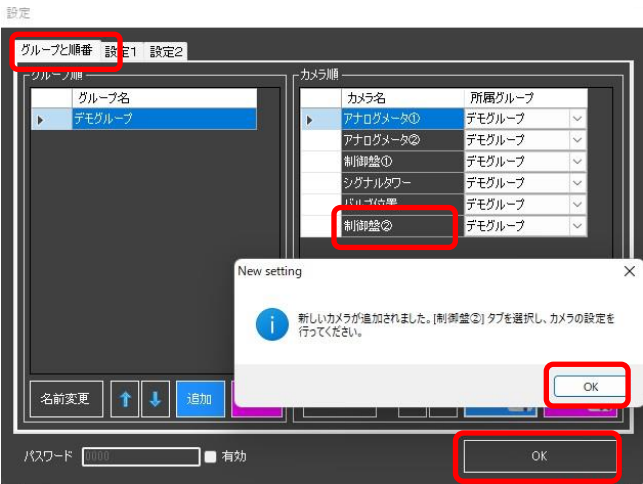


カメラ名を入力するウィンドウが表示されます。分かりやすい名前を入力してOKをクリックして下さい。（ただし、既に「カメラ名」として登録されている名前やWindowsのファイル名として使用できない記号（¥ / : * ? " < > | など）および ; ^ は使用できません。）



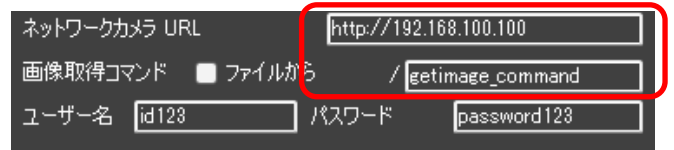
(カメラ名入力ウィンドウ)

新しい名前が追加されたことを確認してOKをクリックします。さらに設定ウィンドウのOKをクリックして設定ウィンドウを閉じます。



自動的に、追加した設定（ここでは「制御盤②」）の設定が開きます。

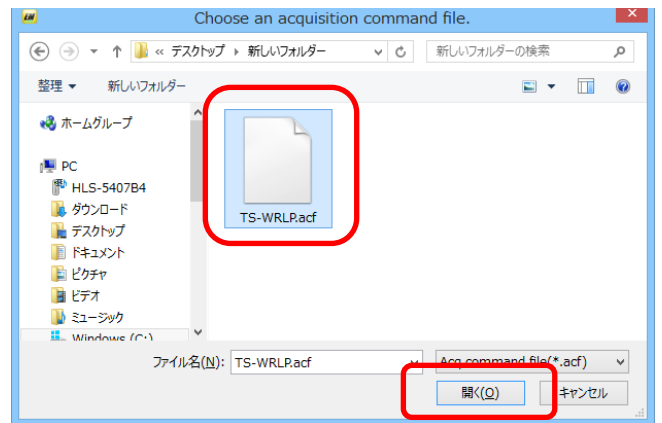
下図のように、URL は IP アドレスまで、コマンドは最初のスラッシュを除いて入力します。



スカイロジックからコマンドファイル入手している場合は「ファイルから」のチェックを ON にし、「参照 (Browse) 」ボタンをクリックします。



入手したファイルを選択して開きます。



選択したファイルが表示されていることを確認します。

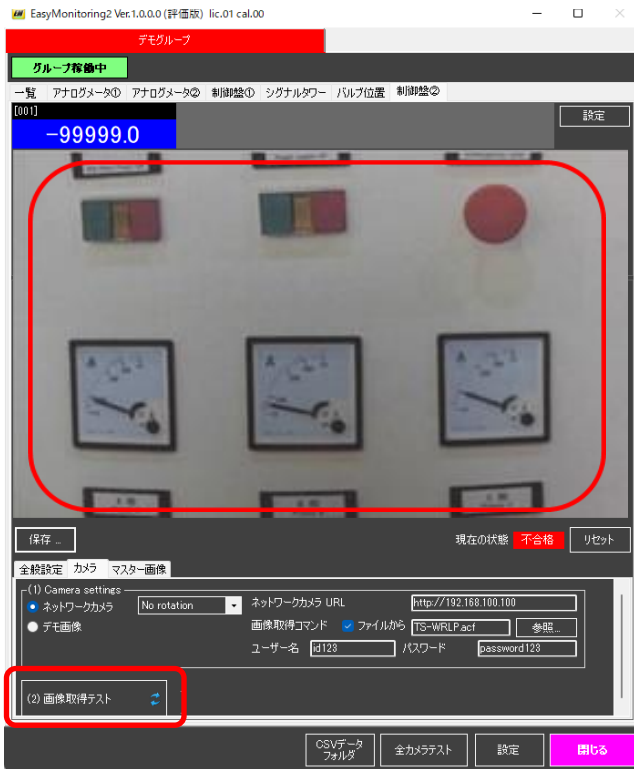


「(2)画像取得テスト」をクリックすると画像が取得され、表示されます。



「カメラ」タブをクリックします。「(1)カメラ設定」で、メモ帳にコピーしておいた URL、コマンド（入手済みの場合）、ユーザー名(ID)、パスワードを入力します。必要に応じて取得画像の回転・反転も行うことができます。



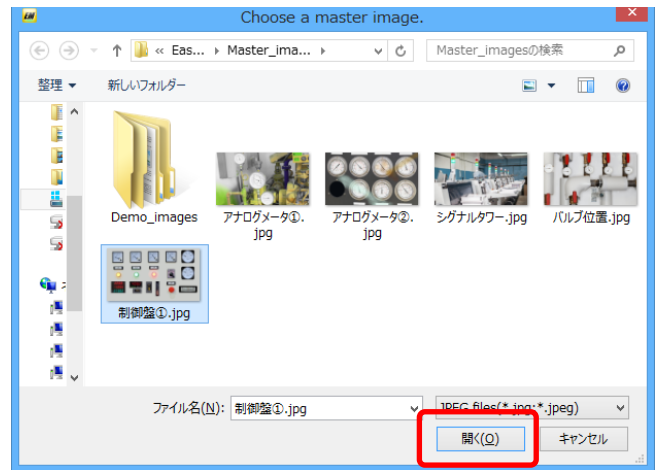


次に「マスター画像」タブをクリックして画像処理設定を行います。

「(3)マスター画像の選択」では、既に設定済みで類似した対象のマスター画像がある場合にこれを選択します。類似のマスター画像を選択することにより過去の設定が利用でき、設定作業を簡略化することができます。ここでは「制御盤①」を選択するため、「(3)マスター画像の選択」をクリックします。



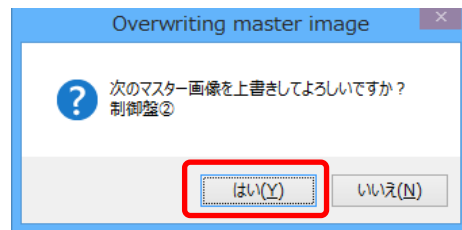
マスター画像選択ウィンドウが開きますので「制御盤①」を選択します。



※選択したマスター画像と追加するカメラの解像度が異なる場合は下記の画面が出ることがあります。OK をクリックして進んで下さい。

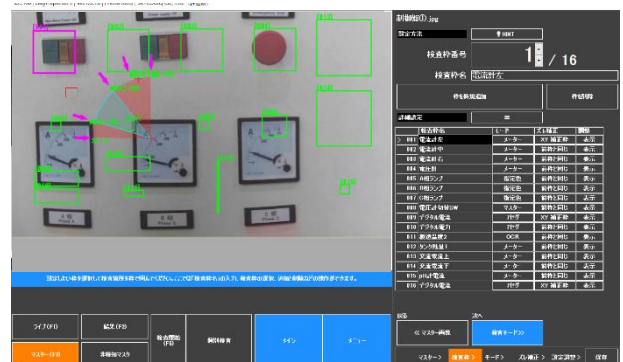


さらに「(4)マスター画像の更新」をクリックし、このカメラで撮影した画像を画像処理ウィンドウに送ります。下記のダイアログで「はい」をクリックして進んで下さい。



5-4-4 画像処理設定

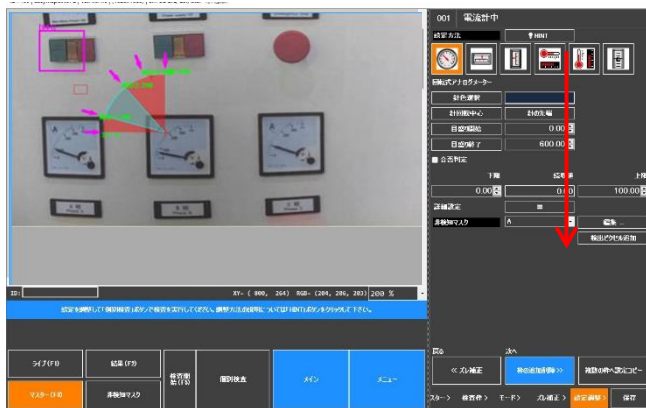
ここまでの設定で、画像処理ウィンドウでは下図のような表示になっており、「制御盤②」の画像に「制御盤①」の設定がコピーされています。ここで不要な箇所は削除します。



(※マスター画像と設定が表示されていない場合は左下の「マスター(F3)」をクリックして表示して下さい。)
 今回は一つのメーター読取(枠 001)を除いて全て削除します。

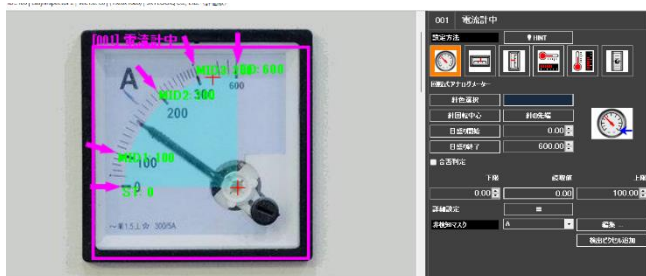


検査枠 001 は下のような表示になります。既にメーター読取の設定になっていますので、針の位置とズレ補正枠を再設定します。

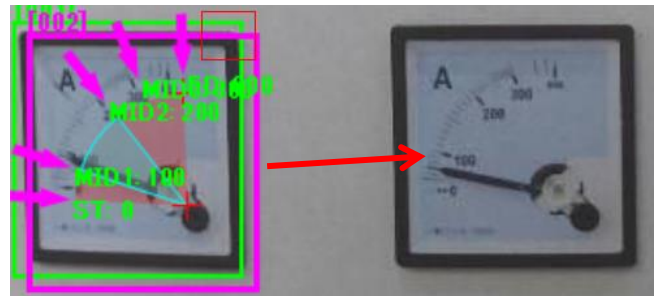


設定領域の上から下へ、設定を行っていきます。ここでは位置のみ修正が必要なので各位置だけ設定していきます。

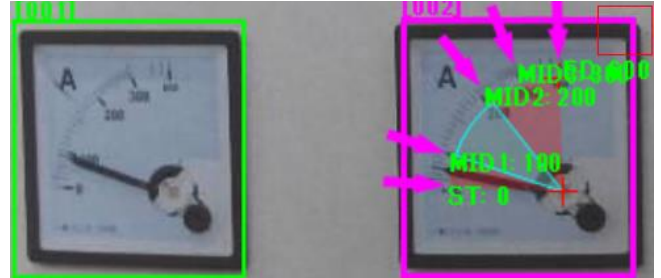
(※「位置指定」をクリックして正しい位置をマウスでクリック。ズレ補正枠はメーターの角に設置して下さい。)



他の二つのメーターにも「枠を新規追加」ボタンで追加した検査枠を配置します。コピー元を枠 001 としてください。



新たに追加した枠を隣のメーターに移動

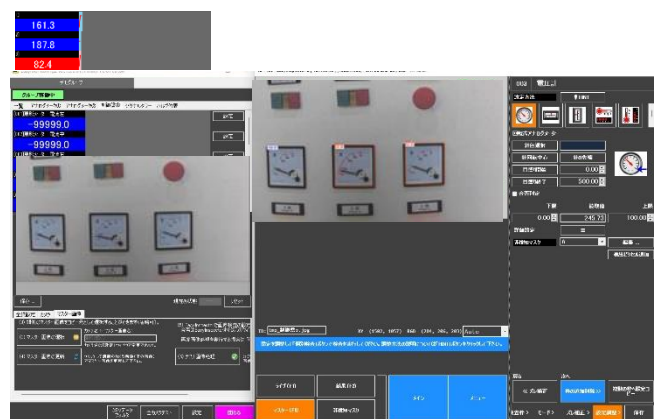


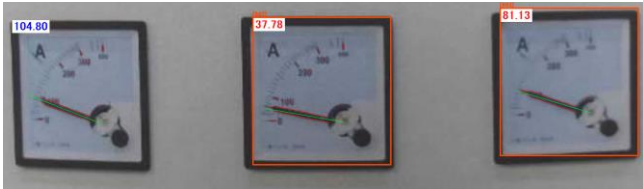
右側のメータを読むためにさらにもう一つ検査枠を追加します。



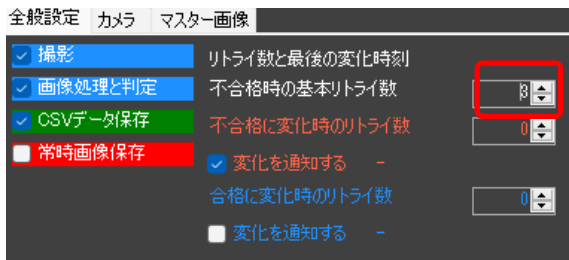
(枠 3 まで配置した状態)

全ての設定が完了したら「(6)テスト画像処理」をクリックして画像処理を実行します。読取が実行され、結果が表示されます。





(※リトライ回数が1以上に設定されている時、読取ができなかった場合や異常値の場合にリトライを行います。この時、画像処理ウィンドウの表示とメインウィンドウの表示が異なることがあります。)



以上でカメラの追加と読取設定が完了しました。

6 : その他の機能

6-1 上位システム(SCADA 等)との連携

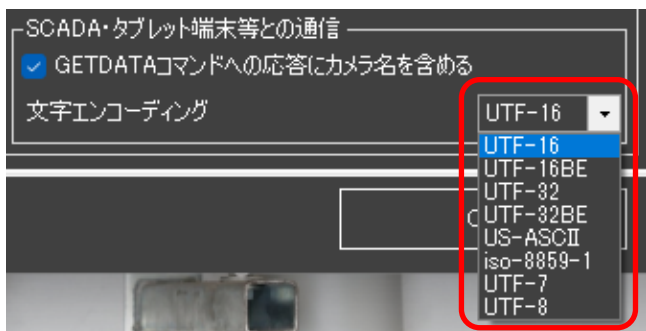
上位システムから本システムに対して、ソケット (TCP/IP) コマンドで命令することができます。

クライアントアプリケーションは下記の条件で本システムと接続して下さい。

IP アドレス : 本システム PC の IP アドレスまたは localhost (同じ PC 内で通信する場合)

ポート : 8200

エンコード : UTF-16, UTF-16BE, UTF-32, UTF-32BE, US-ASCII, iso-8859-1, UTF-7, UTF-8 から選択



コマンドに引数がある場合、コンマの前後に必要なスペースを入れないでください。

Visual C# 2015 のサンプルを用意しております。弊社ダウンロードサイト

(<http://www.skylogiq.co.jp/download/index.html>) より「EasyMonitoring クライアントサンプル」をダウンロードして下さい。

6-1-1 モニタリング開始・終了とソフトの終了

スタート画面の「開始」(モニタリング開始)、メイン画面の「閉じる」(モニタリングを終了してスタート画面に戻る)、スタート画面の「終了」(ソフトの終了)の動作を行います。

- コマンド : CTRL
引数 : 0(=モニタリング終了)/1(=モニタリング開始) /10(=ソフトの終了)
コマンド例 : CTRL,1
- 応答 : 結果
説明 : 成功 : 0
応答例 : 0

6-1-2 ステータス確認

本システムのステータスを確認します。

- コマンド : STS
引数 : なし
コマンド例 : STS
- 応答 : ステータス
説明 : 準備完了 : 0、準備未完了 (メイン画面未起動または監視モードではない) : **
応答例 : 0

6-1-3 カメラを指定して画像処理を実行

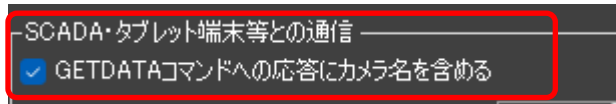
カメラ名を指定して画像処理コマンドを発行し、その結果を受け取ります。

- コマンド : GETDATA,(カメラ名)
引数 : カメラ名。カメラ管理ソフトで設定したカメラ名です。
コマンド例 : GETDATA,制御盤①
- 応答 : 各枠の合否及び数値
説明 : (検査枠名);(数値);(合否)^ の繰返し。
合否は整数で表されます。(0=合格、1ま

たは-1=不合格、-10=判定なし)

応答例：[001]電力計;455.3;0^[002]電流計;4.3;0^ …

「設定」→「設定 1」→「次回起動時から有効」の「GETDATA コマンドへの応答にカメラ名を含める」のチェックを ON にすると、応答データの冒頭にカメラ名+“^”が付きます。



- 応答例：制御盤①^[001]電力計;455.3;0^[002]電流計;4.3;0^ …

6-1-4 カメラ 休止中・稼働中設定

特定のカメラを休止中または稼働中（画像取得と画像処理を有効）にします。

- コマンド：AQINSP,(カメラ名),(休止/稼働)
引数 1：カメラ名。カメラ管理ソフトで設定したカメラ名です。
引数 2：0(=休止)/1(=稼働)
コマンド例：AQINSP, 制御盤①,0
- 応答：切り替え結果
説明：0(=切替成功)/-1(=切替失敗)
応答例：0

6-1-5 グループ 休止中・稼働中設定

特定のカメラグループを休止中または稼働中（画像取得と画像処理を有効）にします。

- コマンド：AQINSP_G,(グループ名),(休止/稼働)
引数 1：グループ名。カメラ管理ソフトで設定したグループ名です。
引数 2：0(=休止)/1(=稼働)
コマンド例：AQINSP_G,電気室 A,1
- 応答：切り替え結果
説明：0(=切替成功)/-1(=切替失敗)
応答例：0

6-1-6 通知が必要なカメラの列挙

通知が必要なカメラ名を列挙して返します。通知が必要なカメラとは、通知の選択（合格・不合格の「変化を通知する」チェックボックスの ON/OFF 状態）と現在の合否状態が一致するカメラ、または撮影のリトライ全てに失敗したカメラです。

- コマンド：POLLING
引数：なし
コマンド例：POLLING
- 応答：通知するカメラがない場合：*
通知するカメラがある場合：
(グループ名),(カメラ名 1)|(変化方向),(カメラ名 2)|(変化方向), … ,(カメラ名 n)|(変化方向):
説明：グループ名+コンマに続きカメラ名|変化方向+コンマが通知の必要な台数分続きます。グループの最後にコロン：がつきます。変化方向は合格→不合格(P->F)、不合格→合格(F->P)または撮影失敗(E)の文字列で表現されます。
応答例 1（通知対象のカメラ無し）：
*
応答例 2（電気室 A グループで 2 つのカメラ、処理棟 C グループで 3 つのカメラが通知対象）：
電気室 A,制御盤①|P->F,制御盤②|P->F:処理棟 C,圧力計①|F-P,圧力計②|P->F,圧力計③|P->F:

6-2 タブレット等の端末との連携

タブレット端末に専用アプリケーション（オプション）をインストールすることによりカメラ単体やカメラグループの休止/稼働を切り替えたり、特定のカメラの最新の画像と判定結果を表示させたりすることができます。

6-3 HTTP サーバーとの連携

メールによる通知と同様に、画像による判定の結果が合格→不合格または不合格→合格に変化した時に HTTP サーバーに対してデータを送信することができます。

6-3-1 HTTP サーバーへの接続設定

スタート画面で「設定」をクリックしてメイン画面を設定モードで起動します。

さらにメイン画面右下の「設定」をクリックして設定画面を開きます。「設定 2」タブを開き、送信に必要な情報を入力します。

「サーバーに異常通知の HTTP リクエストを送信する」にチェックを入れることで URL 情報、ベーシック認証用の ID とパスワードを入力することができます。

- URL : URL には HTTP サーバーの URL のほか、API に向けた GET パラメータを送信することができます。URL の後に「?」を付け、続けて(パラメータ名)=(値)を「&」でつなげる形で記述します。

- 動的パラメータ値 : GET パラメータにはカメラ名や測定値などの動的な値を含めることができます。[NAME], [VAL], [IP] の文字列はそれぞれ (カメラ名)-(検査枠名)、(測定値)、(カメラ IP アドレス)に置き換えられて送信されます。
- ベーシック認証 : ベーシック認証の ID とパスワードを設定することができます。ベーシック認証を使用しない場合は空欄にしてください。

「テストリクエスト」の「送信」ボタンをクリックするとテストリクエストを HTTP サーバーに送信することができます。サーバーに対して正しく送信されることを確認して下さい。

7 : 貸出カメラとお問合せ

7-1 画像をお送り下さい

監視をご検討中の制御盤、メーター、設備状態のデジカメ画像をお送り頂ければ、技術サポート担当が読取や状態監視が可能か確認して報告いたします(無償)。

7-2 貸出カメラ

動作確認済みの貸出カメラを用意しています。実際の環境でテストされる場合は是非貸出カメラをご利用ください(無償)。

7-3 技術サポート

7-3-1 LINE サポートのご案内

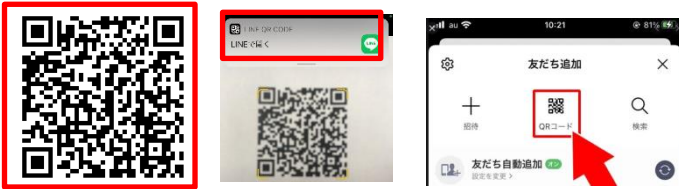
簡単&スピーディな LINE サポートをお勧めしています！

「これできる?」「ちょっと操作が分からないんだけど」など、ご質問は スマホで LINE サポートにお寄せください。



- スマホがあれば作業場所から簡単に質問ができます。
- 画面スクリーンショットや製品画像を簡単に送れます。
- スカイロジックからの回答が担当者様のスマホに直接届きます。
- チャット形式なので質問と回答のやり取りがスピーディです。

LINE で質問を送る簡単 3 ステップ :



ル、ホームページのお問い合わせフォームまたはお電話でご連絡頂けますと幸いに存じます。

1. スマホのカメラを起動（または LINE アプリの友達追加 → QR コードでカメラを起動）して上の赤い四角の QR コードをスキャンします。
2. LINE の画面で「追加」をタップして友達に追加します。

ご質問や画像をチャットでお送り下さい。

7-3-2 メールによるサポート

下記メールアドレスにご質問をお送り下さい。

info@skylogiq.co.jp

7-4 ご要望をお聞かせください

こんな機能があったらもっと使いやすい、この部分が使いにくいので改善してほしいなど、ご要望がありましたら是非、上記フォーラムやサポートメールにお寄せ下さい。今後の製品開発のテーマとして検討していきたいと思っております。

8 : 出張デモについて

デモンストレーションにつきましては、ご来社頂いたお客様に対して技術担当者が直接説明する形（無料デモサービス）を取らせて頂いております。製品の価格を安価に維持するため、ご足労とご不便をお掛けいたしますが何卒ご理解下さいますようお願い申し上げます。

また社内デモンストレーション以外にもデモソフトのダウンロード、カメラの貸出、弊社サポート担当による監視対象画像の判定可否確認など、お客様が簡単にシステムを導入できるようにするための情報とサポートを充実させております。

上記サービスを是非ご利用いただき、ご要望やご不明な点がありましたらいつでも LINE、メー